



MS315-0K001 オーバーフェンダー

取付・取扱要領書

この度はTRDオーバーフェンダーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は装着後に車両諸元が変更となるため、下記項目に関し、 周知徹底のうえ、確実なご対応をお願い致します。

- ①登録前装着の場合⇒持込みによる新規検査登録が必要です。
②登録後装着の場合⇒指定外部品であるため構造等変更検査が必要です。
(検査後の有効期間は車検有効期間残日数にかかわらず、検査日より1年となります。
なお、支払済みの自動車重量税の還付はなく、構造等変更検査時に新たに1年分が必要となります。)



☆ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

■ 品番・適合車種

品番	適合	型式	年式	備考
MS315-0K001	ハイラックス	GUN125	'17. 09~	オリジナル全幅より60mmプラス

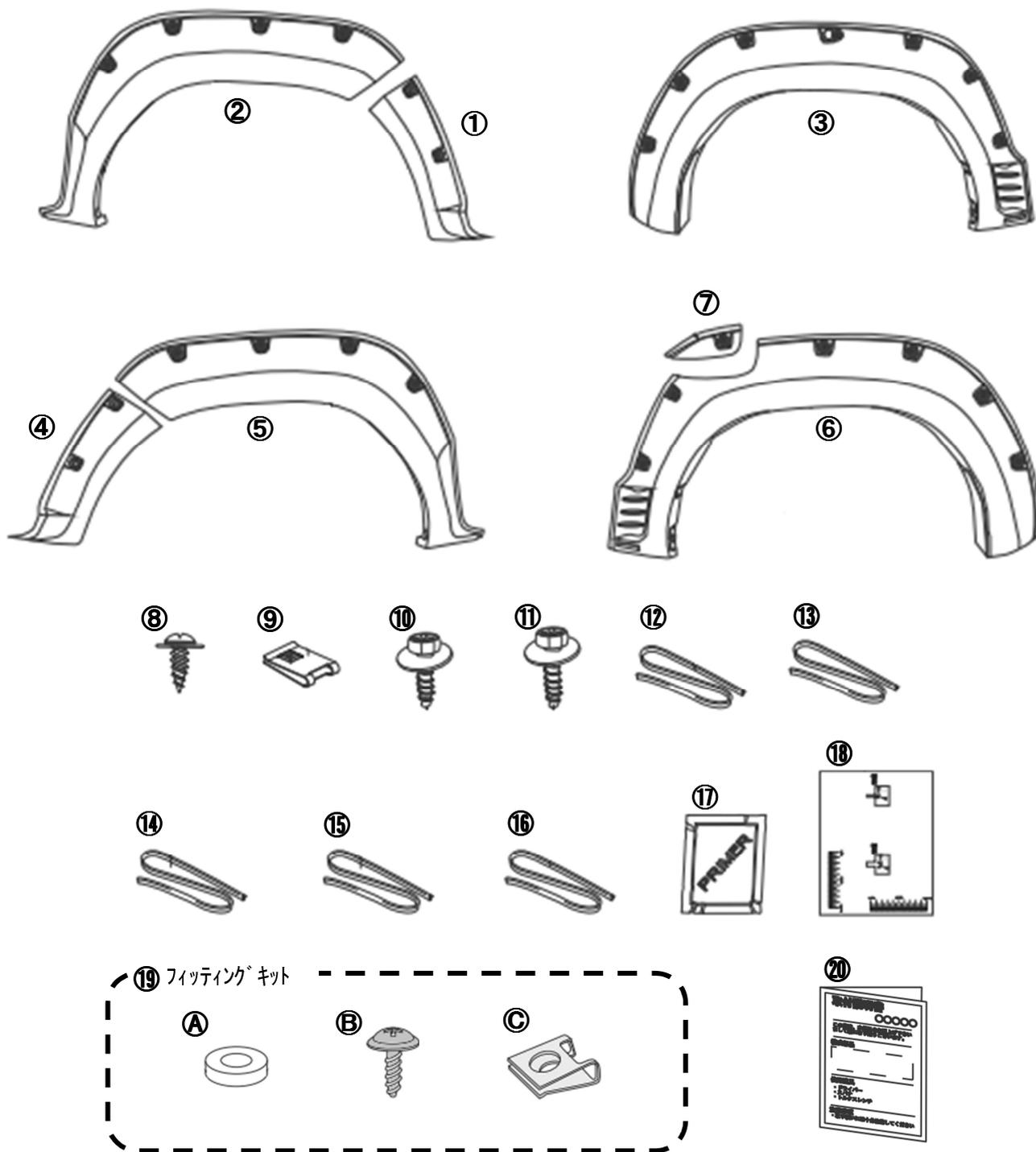
・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。<http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

	部品名	数量	備考
①	オーバーフェンダーFR No.1 RH	1	
②	オーバーフェンダーFR No.2 RH	1	
③	オーバーフェンダーRR RH	1	
④	オーバーフェンダーFR No.1 LH	1	
⑤	オーバーフェンダーFR No.2 LH	1	
⑥	オーバーフェンダーRR No.1 LH	1	
⑦	オーバーフェンダーRR No.2 LH	1	
⑧	タッピングスクルーA	4	M5X20
⑨	スプリングナット	4	M5
⑩	タッピングスクルーB	6	M6X20
⑪	タッピングスクルーC	8	M6X25
⑫	モール (L=630mm)	3	①④用及び⑥フロント用
⑬	モール (L=1530mm)	2	②⑤用
⑭	モール (L=1170mm)	1	⑥リア用
⑮	モール (L=240mm)	1	⑦用
⑯	モール (L=2030mm)	1	③用
⑰	PACプライマー	1	
⑱	型紙	1	
⑲	フィッティングキット	1	部品構成は別欄(次項)参照
⑳	取付・取扱要領書(本書)		

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 部品構成図



■ フィッティングキット一覧

	部品名	数量	備考
Ⓐ	スペーサー	6	T=30
Ⓑ	スクリュー	4	M5X20
Ⓒ	Jナット	4	M5

取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていたいただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。



注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール（IPA）または「（株）タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形が無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

■ 目次

1. 表紙・構成部品.....	1 ~ 2
3. 取付け取扱上のご注意.....	3
2. 取付けに必要な工具・保護具・消耗品.....	4
4. TRDオーバーフェンダー取付け要領.....	4 ~ 9
5. 取付け後の確認・点検.....	9

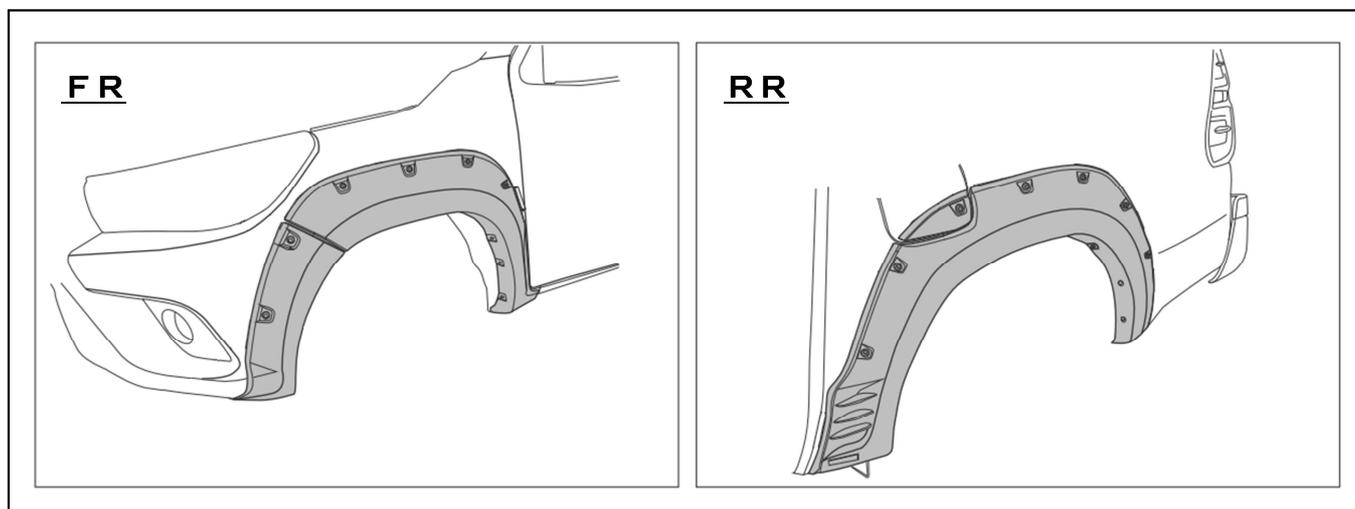
■ 取付けに必要な工具

一般工具

■ 取付けに必要な保護具・消耗品

保護メガネ、ウエス・脱脂剤《ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)》
保護シート・保護テープ・マスキングテープ等

■ 取付構成図



■ TRDオーバーフェンダー取付け要領

*本取付・取扱要領書は主にLHを示しており、RHも同様に作業してください。

1. オーバーフェンダーの取付け準備作業

- (1) 図1・2を参考に、オーバーフェンダーFR及びRRを清掃・脱脂を行いモール取付け面にPACプライマー⑩を塗布する。
- (2) 図1・2・3を参考に、オーバーフェンダー①～⑦にモール⑫～⑮を両面テープの離形紙を剥がしながら貼り付けて、圧着する。

※オーバーフェンダーとモールの組み合わせは一覧表を参照してください。

図1 FR LH

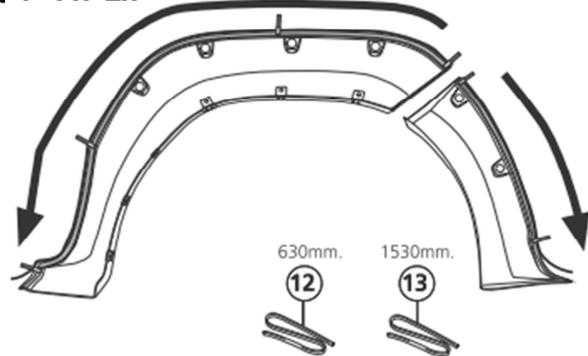


図2 RR LH

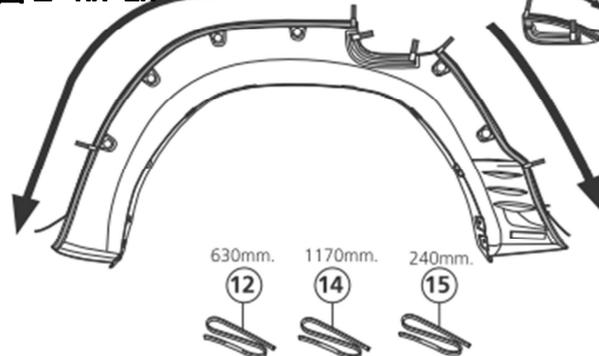
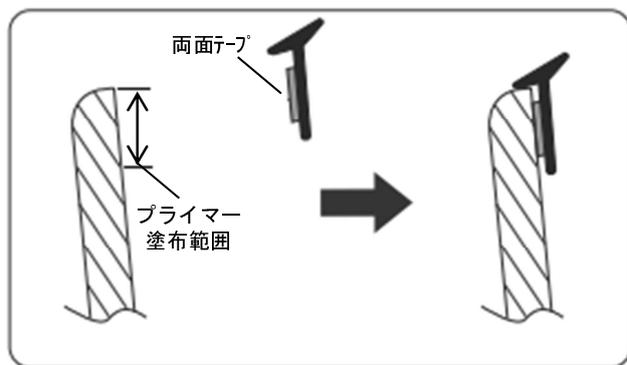


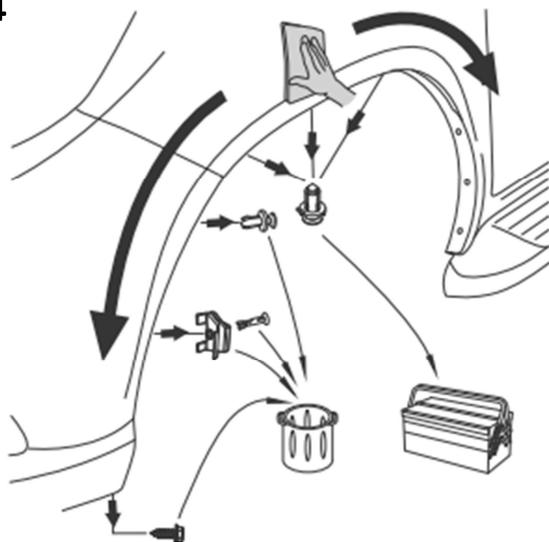
図3 モール貼付け部拡大図



モール組み合わせ一覧

FR No. 1, RH	①+⑫	FR No. 2, RH	②+⑬
FR No. 1, LH	④+⑫	FR No. 2, LH	⑤+⑬
RR	RH ③+⑯		
RR No. 1, LH	⑥+⑫+⑭	RR No. 2, LH	⑦+⑮

図4



- (2) 図4を参考に該当車両の修理書に従い、フロントフェンダー車両部品のクリップ・スクリュー及び、フロントマッドガードを取り外す。
- (3) 図4のように、オーバーフェンダー取付け部を清掃・脱脂を行う。

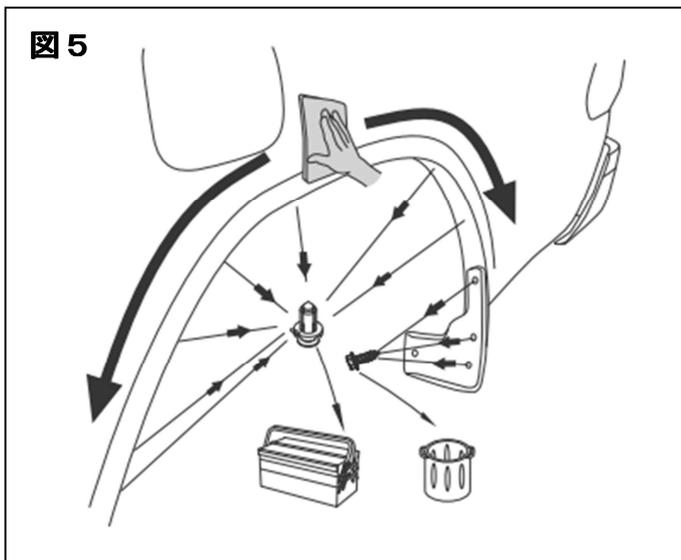
アドバイス

- 取外した車両部品は、図4を参照して再使用するものと使用しないモノに分けて保管してください。

なお、取り外したフロントマッドガードは再使用しません。

*以下の作業も同様のこと。

図5



(4) 図5を参考に該当車両の修理書に従い、リヤフェンダー車両部品のクリップ・スクリーマッドガードを取り外す。

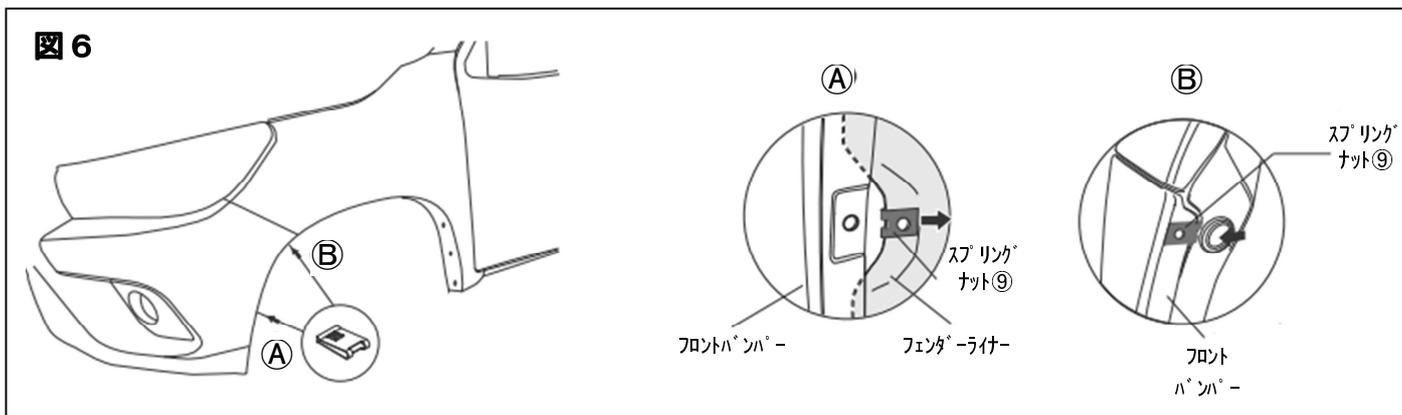
(5) 図5のように、オーバーフェンダー取付け部を清掃・脱脂を行う。

注意

- ・脱脂はIPA（イソプロピルアルコール）又はホワイトガソリンを使用して、その他の溶剤は使用しないこと。
- ・ボディにコーティングを施している場合は確実に除去してください。
- ・脱脂が不十分だとハガレ、脱落の原因になります。

(6) 図6のように、フロントバンパー①②の部位にスプリングナット③を取付ける。 (左右各2箇所)

図6



(7) 図7・8のように、オーバーフェンダーを仮組み付けし各部にスキが無いことを確認して、取付け位置をマスキングテープでマーキングする。*部品と部品のスキは次項の断面図を参照

図7

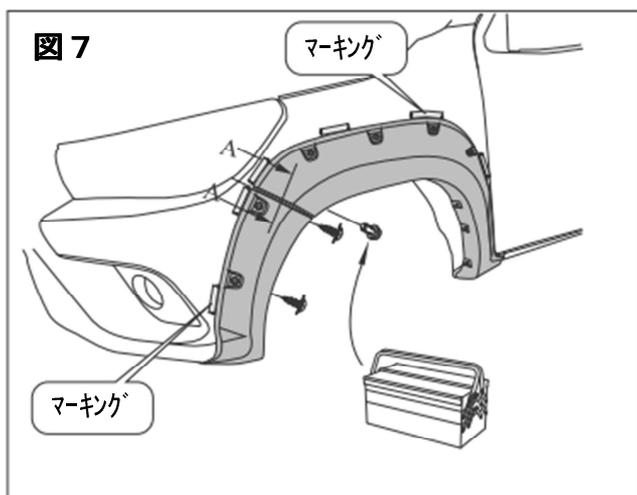
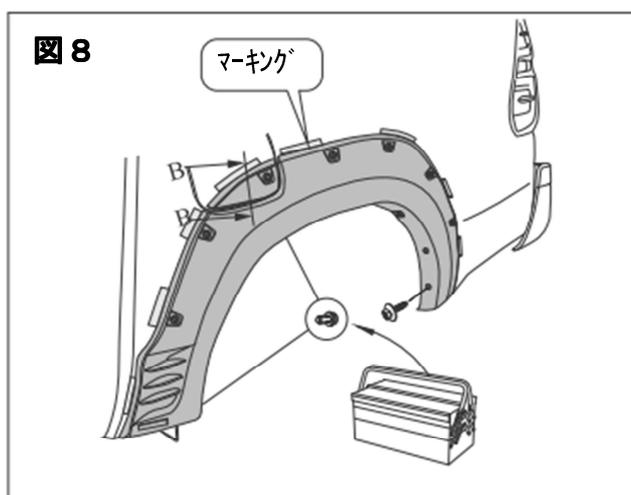


図8

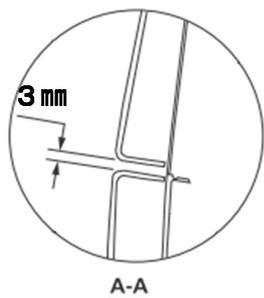


アドバイス

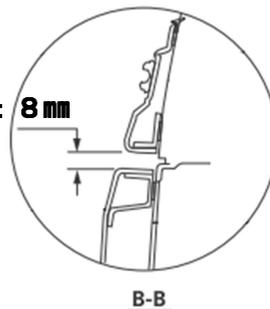
- ・取付け位置のマーキングは、後作業で行うプライマー塗布時のはみ出し防止を目的としています。正確な位置出しとマーキングを行ってください。

前項 図7・8 A・B部の断面図

参考値：3mm

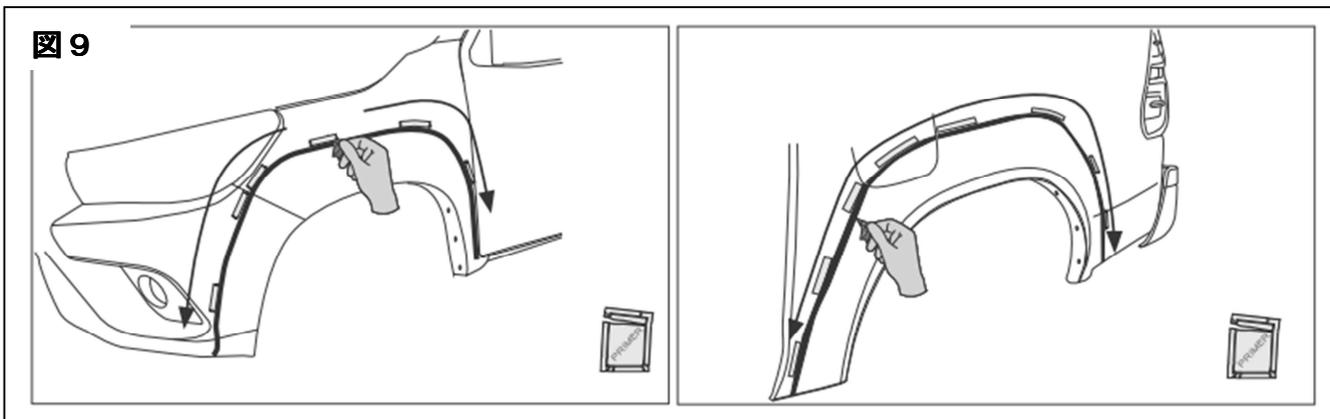


参考値：8mm



(6) 図9を参考に、仮組みしたオーバーフェンダーを取り外し、再度、マーキング部の脱脂を行い、PACプライマー③を塗布する。

図9

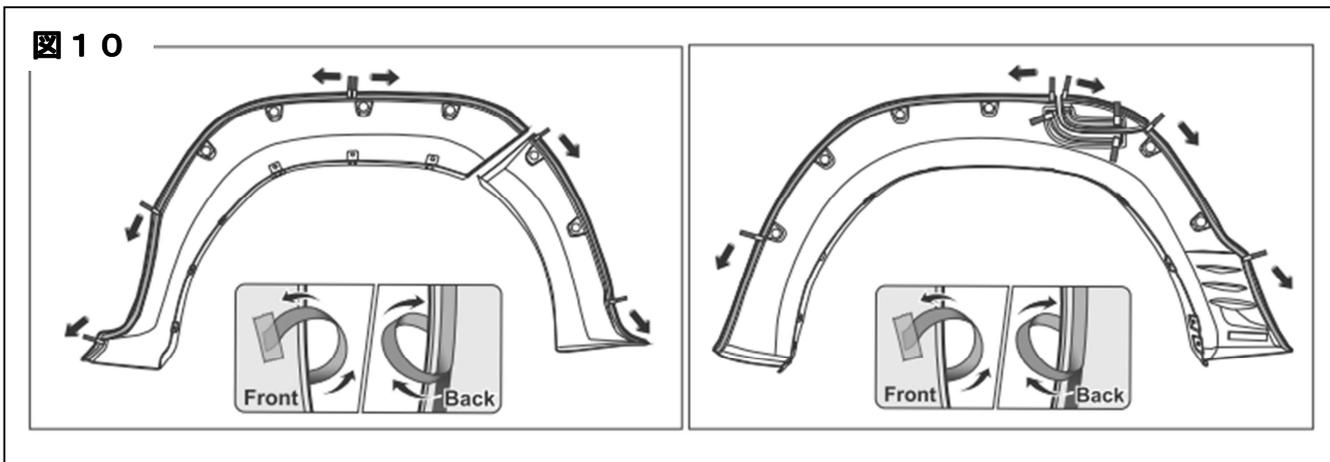


アドバイス

- ・ プライマーの塗布は、貼り付け部以外の部位にはみ出さないように十分注意して行ってください。プライマーのはみ出しは、シミや変色の原因になります。はみ出した場合は、脱脂剤を使用して十分に拭き取り、清掃を行ってください。
- ・ プライマーの塗布後は10分以上乾燥させてから、両面テープの貼り付け作業を行なってください。

(7) 図10のように、オーバーフェンダーの両面テープ離形紙を矢印の向きに30mm程度はがし製品の表面にマスキングテープで貼り付ける。

図10



2. オーバーフェンダーの取付け

(1) 図11・12を参考に、オーバーフェンダー①～⑦を車両に組み付け仮締めする。

図11
オーバーフェンダーFR

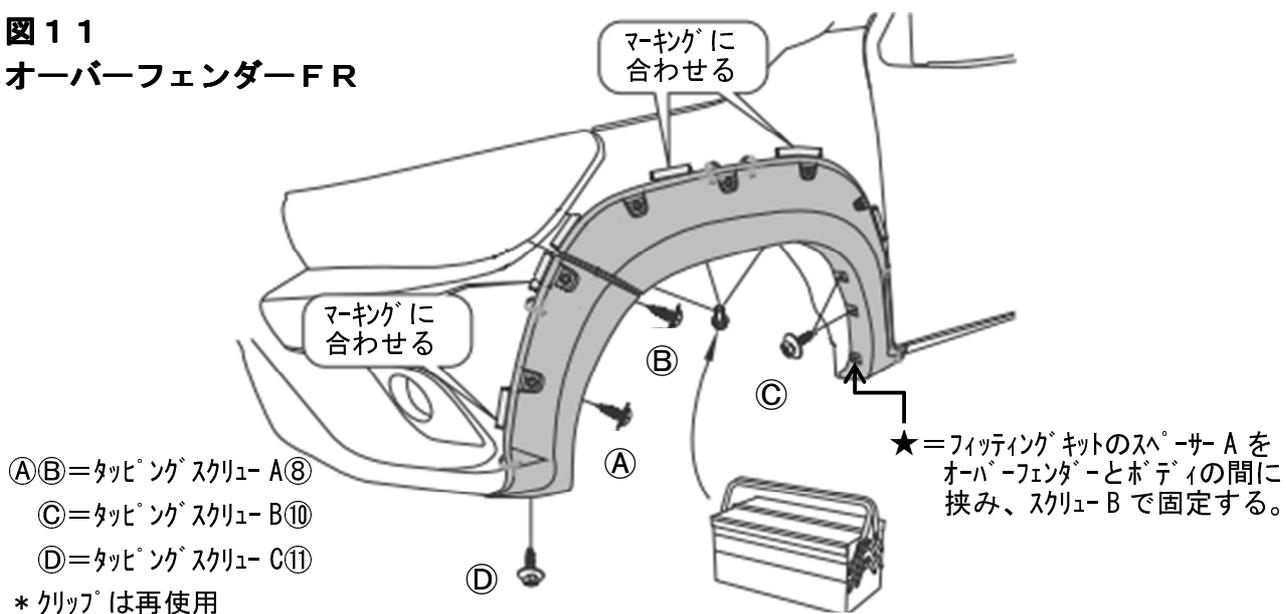
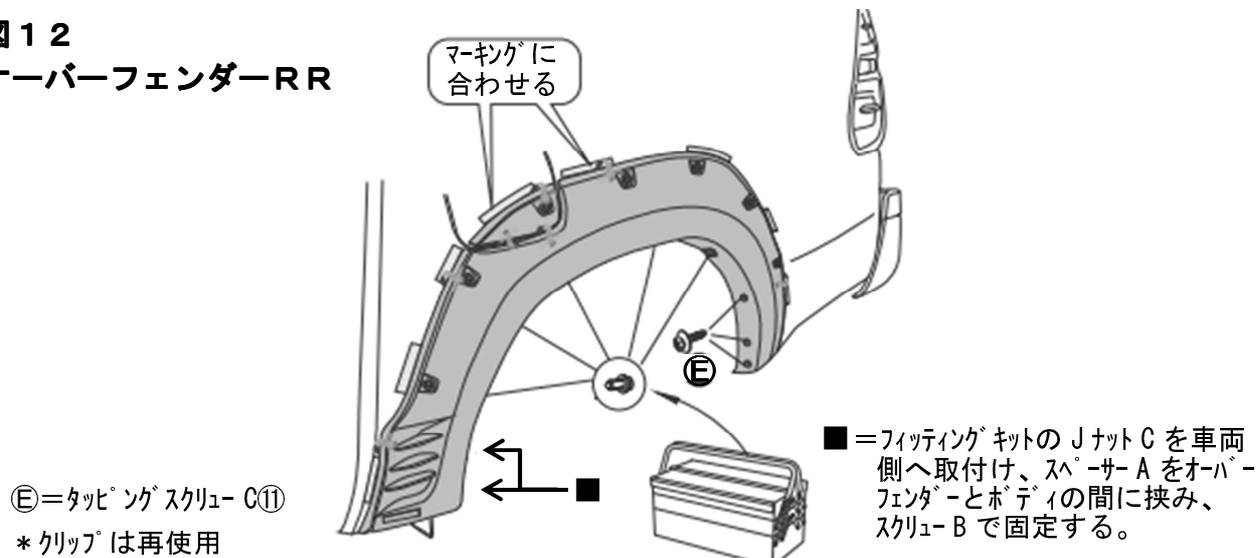


図12
オーバーフェンダーRR

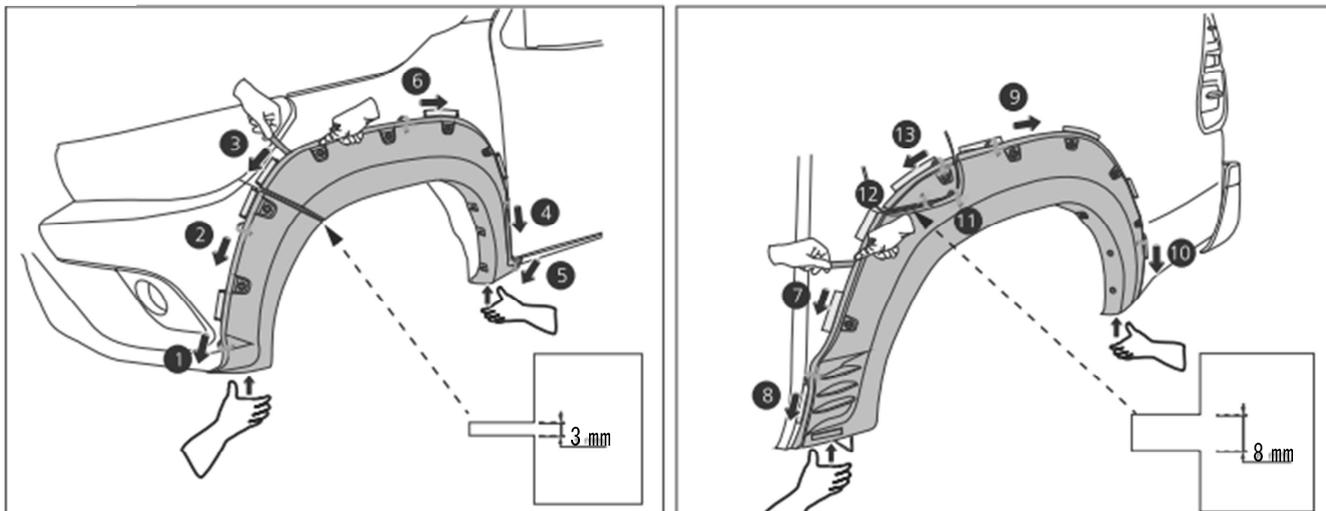


アドバイス

- ・オーバーフェンダーの仮締めは、位置調整ができる程度の締めつけを行ってください。各部のスキが均等になっていること、正確な位置になっていることを確認してください。

- (2) 型紙⑩から隙間ゲージを切りだして、厚紙等に貼り付ける。
- (3) 図13のように、各部にスキが無いが、部品間のスキを隙間ゲージで確認して、番号順に離形紙を剥がしながら貼り付けて圧着する。

図 13



お願い

- ・各部のスキ・段差など無いことを確認のうえ、両面テープの貼付部全体を再度、均等に圧着して下さい。
- ・圧着が不十分だと、浮き・剥がれの原因となります。十分にご注意ください。

- (3) 仮締めしたタッピングスクリューを本締めして、各部の保護・マーキングに使用したマスキングテープをはがす。

■ 取付け後の確認・点検

- ・各部にスキや段差などが均一になっていること、取付け部に緩みやガタが無いことを確認する。
- ・オーバーフェンダーの取付け部周辺にキズなどが無いことを確認する。
- ・取付け後、数キロの走行を行い、異音やガタが無いことを確認する。